

よこはまユースレター

発行/公益財団法人よこはまユース
 tel.045-662-3716 fax.045-662-7645
 URL <http://yokohama-youth.jp/>
 Eメール soumu@yokohama-youth.jp

地域の中で、人との関わりの中で育む、子どもたちの創造性・自主性・社会性

放課後の居場所

～放課後キッズクラブの取組みから～

「放課後キッズクラブ」をご存知ですか？
 市立小学校で、子どもたちが安全で豊かな放課後を過ごすための居場所として、2004年度から始まった取組みです。今号では、よこはまユースが運営する放課後キッズクラブの様子をご紹介します。

■放課後キッズクラブとは？

放課後キッズクラブ（以下「キッズクラブ」）は、すべての児童を対象に、小学校施設を活用して「遊びの場」と「生活の場」を兼ね備えた、安全で快適な『放課後の居場所』を提供しています。8月1日現在、横浜市内の294校で開設され、月曜～土曜の放課後から午後7時まで、運営団体の特色を生かしたプログラムが展開されています。

よこはまユースでは、友だちや地域の大人など人とのつながりや、様々な体験を通じて子どもたちの社会性や自立心を育むことを目指し、現在27キッズクラブを運営しています。子どもたちは、ボードゲームや宿題をしたり、校庭でドッジボールをしたり、室内で折り紙をするなど思い思いに過ごしています。

それでは、キッズクラブの1日をのぞいてみましょう。

秋葉小学校放課後キッズクラブ（戸塚区） ～室内遊び～



子どもは遊びを考える天才。恐竜の人形も、遊びによって戦う相手になったりまごとの友達になったりと大忙しです。



すすき野小学校放課後キッズクラブ（青葉区） ～大掃除～



毎日遊んでいる場所を、上級生を中心にみんなで大掃除。「そっち持って!」「ここをもっと拭いたほうがいいよ」と、元気な声が飛び交います。

長津田小学校放課後キッズクラブ（緑区） ～野球教室～



楽しみにしている野球教室は、地域の人が指導してくれます。子どもたちのことをよくわかっているコーチの皆さんは、顔に浮かぶ「早く打ちたい!」「投げたい!」を読み取り、まず、準備体操で気持ちを落ち着かせます。

■人との関わりの中で

キッズクラブに来ている子どもたちは、学年やクラスも、個性も様々です。このような集団の中で、「宿題している子がいるから離れたスペースでゲームをしよう」「年少の子にはボールを強く投げないようにしよう」など、知らず知らずのうちに仲間に対する思いやりや、人とのかかわり方を学んでいます。

また、昨今は地域の中で大人と子どもが関わる機会が減っており、各地で様々な交流の機会が作られています。キッズクラブも、「地域の子どもと顔が見える関係づくり」の拠点の一つとして、地域の人たちをイベントに招いたり、講師となって関わってもらったりなど日常的に子どもたちと交流できるしくみを作っています。このような取組みにより、子どもたちは「顔と名前を知っている大人たち」が増え、自分の住む地域への愛着を深めているようです。

「放課後の居場所」として、様々な人との関わりの中で、子どもたちがたくさんの経験を積んでいけるようにするにはどんな工夫ができるか。子どもたちの無邪気な振舞いに圧倒されながらも、スタッフは今日も頑張っています。

【よこはまユースの運営する
 放課後キッズクラブについてのお問合せ】
 ・キッズ運営課 TEL:045-662-7646
 【横浜市こども青少年局HP】
<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kosodate-kyoku/hokago/hokagokids/>



青少年交流・活動支援スペース さくらリビング

青少年ボランティア体験事業

「中高生夏期ボランティア」(7~8月)

地域ケアプラザやプレイパークなど、中区と西区内の10カ所の活動に、延べ112名の中高生が参加しました。



今年度は、活動前のオリエンテーションに受入先の職員も参加し、中高生との顔合わせを兼ねた説明ができました。

参加した中高生からは「活動を通じて地域の人とコミュニケーションを取ることができ、とても楽しかったです。地域の活性化にもつながると思いました」「自分から仕事を見つけたり、話しかけたりする大切さを学びました。今後活かしていきたいです」などの声が聞かれました。

横浜市野島青少年研修センター

「1泊2日の秘密基地づくり」(10月26~27日)

小学3~6年生30人が、シートやウレタンボード、野島公園に落ちている松ぼっくりやどんぐりなどの様々な材料を使って、オリジナルの秘密基地を作りました。



のこぎりや金づちの使い方、ペグの打ち方を学び、グループの仲間とともに材料を探し、選び、協力し合いながら2日間かけて作り上げた基地に、それぞれ大満足の様子でした。

参加した子どもたちは、「どうしたらみんなにとって楽しく心地よい場所(基地)になるかを考えながら作った」と話しており、活動を通じて自分の意見を伝え、仲間の意見も聞くことの大切さを学んだようです。

よこはまユース(本部事業)

「道志小児童よこはま体験プログラム」

(10月3日~4日)

横浜の水源地である山梨県道志村から道志小学校5年生児童を招待し、小学生との交流と社会見学を行いました。



川井浄水場を見学後、横浜市立中山小学校を訪問。中山小児童は6月に道志小を訪問しており、学校紹介や給食体験でさらに交流が深まりました。横浜港のマリンシャトルでは、行き交う船やカモメの群れに子どもたちは大喜び。その後も中華街での食事や自動車工場見学など充実した2日間となりました。子どもたちからは「道志村と横浜のつながりについて、より一層知ることができた」と感想が寄せられました。

横浜市青少年育成センター

研修報告【ユースゼミ】(7~11月)

「BOOK ラウンジ~平成の若者を読み解く~」

今年度のユースゼミは、『BOOK ラウンジ』と題し、読書会形式で毎月テーマを変えて5回開催しました。

元号が令和に変わり、平成とは青少年にとってどんな時代だったのか、「書物から読み解こう」と集まった参加者が、「マンガ」「小説」「ノンフィクション」などのテーマをもとに、青少年が置かれている環境や自分自身が青少年だった頃のことを考え意見交換を行いました。



様々な職種の参加者が集まり、それぞれの立場や視点からの話を聞くことができ、毎回有意義な時間となりました。

Thank you for your support.

ありがとうございました!

2019年8月1日から10月31日までの寄附金

◆ユース賛助会費 58件 299,000円
◆一般寄附金 14件 242,295円

寄附金協力者(順不同、敬称略)

【団体】

川本工業(株)協栄会/NPO法人横浜音楽協会/横浜市退職小学校長会/横浜信用金庫/京浜サービス(株)/柴町内会/第一カーボン(株)
(有)武牛乳店/ボーイスカウト横浜市連合会/横浜商工会議所/三ツ境幼稚園/(株)横浜アーティスト/ブックオフオンライン

【個人】

飯塚 道子/稲垣 公明/犬塚 善一郎/井上 孝夫/岩崎 紀夫/太田 京子/大槻 繁美/斎藤 伸夫/佐藤 邦彦/田野井 優太郎/坪井 弘愛
出口 晴基/福田 美知子/松井 孝子/三池 明/安田 幸世/荒井 総平/板垣 憲明/市原 政喜/大石 俊雄/沖津 淑子/恩田 幸一
片岡 喜久江/雲井 耀一/澤出 吉秀/清水 桂子/鈴木 千代江/中村 輝次/濱倉 公子/松本 小寿恵/光田 清隆/安田 修二/岩倉 憲男

「四寺廻廊」の専用御朱印帳を片手に、みちのく古寺巡礼めぐりをしました。四寺廻廊は、山寺の立石寺、松島の瑞巖寺、平泉の毛越寺、平泉の中尊寺の四寺を廻る巡礼コース。この四寺には江戸時代に松尾芭蕉も奥の細道で訪れています。芭蕉が旅した足跡を巡るのも良いものですね。(暁)